

## Tera Term によるパソコンと M1950 の接続方法(USB ケーブル使用)

### 1. 概要

ここでは、フリーソフトの Tera Term (Version4.63) を使用してパソコンと M1950 を接続してデータ転送するまでの手順を説明します。

コントロールソフト XPROM をお持ちでない場合に使用します。

### 2. パソコンと M1950 の接続

USB ケーブルで接続してください。

※ 事前に M1950 USB ドライバのインストール願います。

### 3. M1950 側の設定

#### ① 転送フォーマットの設定

設定方法:[MODE] → [System config] ENT → [Format Select] ENT

転送フォーマットを設定するには START キーを押します。

この設定は、電源を切っても有効です。

※ M1950 バージョンアップ時は設定を再確認願います。

#### ② インターフェースの設定

設定方法:[MODE] → [Remote] ENT → [Remote Select] → [右キー USB]

インターフェースを設定するには START キーを押します。

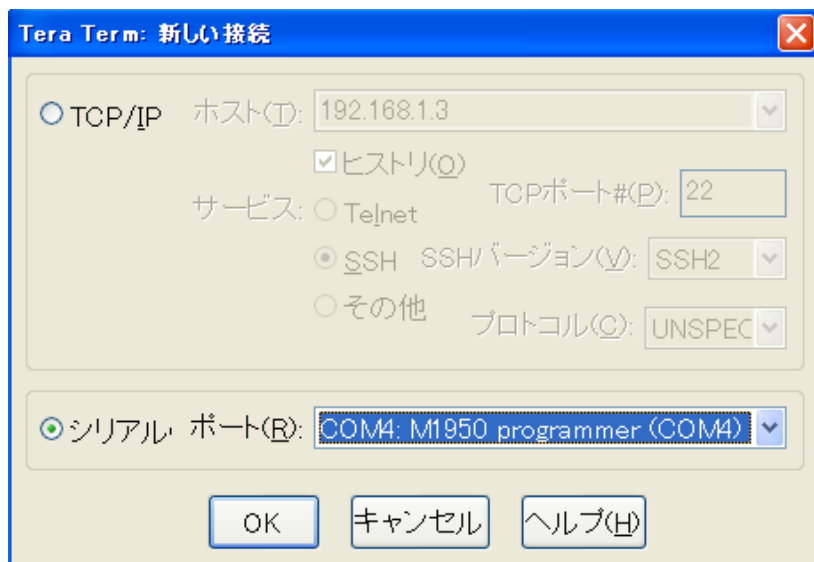
※ 電源を切った際、再設定が必要です。

### 4. パソコン側の操作

① パソコンを立ち上げ Tera Term (Version4.63) を起動する。

② Tera Term 新しい接続 → シリアルポートを選択

→ COM※ M1950programmer(COM※) → [OK]



- ③ キーボードから [Ctrl]を押しながら[E]を 2 回押してください。

(入力はすべて大文字)

ロムライタの液晶表示が[Remote Mode]となり、パソコン画面上に[#]マークが表示されます。(この状態にならない時は、通信条件が合っていないかケーブルに問題があることが考えられます。)

上記のような状態になっていれば、パソコンロムライタのターミナルとして、動作していますので、[#]マークにつづけてコマンドキーを入力していただければリモートで操作が可能です。コマンドの内容については[#]マークに続けて、コマンドをキー入力していただければリモートで操作が可能です。コマンドの内容については[#]のあとに[H][リターン]によりヘルプが表示されますので、参考にしてください。

[#]マーク後に、入力した文字が表示されない場合以下の設定を行ってください

[MODE] → [System config] ENT → [Remote setting] → [ECHO ON]

## 5. パソコンからロムライタへのデータのダウンロード

- ① [RL]と入力し[リターン]

(ロムライタの表示が以下ようになります。)

Remote [RL...] PROGRESS ADRS:#
-----------------------------------

(データ待ち状態となり、キーボードからの入力は受け付けなくなります。)

※ Binary(no format)形式のファイルは送信できません。

- ② Tera Term の[ファイル]の[ファイル送信]をクリックし、ダウンロードしたいファイルを選択し[開く]をクリック、ダウンロードが開始されます。  
正常にダウンロードが終了すると、ロムライタの液晶表示は[Remote Mode]に戻り、パソコンの画面上に[PASS,RL]と表示され完了です。

平成 21 年 11 月 2 日

ミナトエレクトロニクス株式会社